

進路だより



2023年2月28日(火)
福島県立あさか開成高等学校
進路指導部 第9号

「飛翔」未来へ！ 進路指導部長より

「1年後に成功するのは難しくても10年後にはチャンスがある！」

これはアジア最大の消費者向け電子商取引・ウェブサイト「アリババ社」(2003年設立)の創業者ジャック・マー氏が、スピーチの中で若者たちに「覚えておいてほしいこと」として訴えた一節だ。

彼は大学受験に3回落ちて、就職活動では30社落ちたそうだ。ちなみに君たちにもお馴染みのケンタッキーフライドチキンの面接試験においては、24人の受験者の中で彼だけ不採用だったというエピソードもある。そのような彼が、歴史上最大となる250億ドルの新規株式上場(株式会社が自社の株式を証券取引所で自由に売買できるように公開すること)を成し遂げた。

「明日、成功したいと思っても、それは不可能です。来年までに成功したいと思っても、しかし10年後に勝ちたいと思っているならば、チャンスはある」

3年生諸君、天高く大空を舞う鳥のように、大きく飛躍し活躍することを祈念します。

先輩との座談会

2月2日(木)の放課後に、拓殖大学国際学部4年の宗形颯人さん(21期卒業生)を招き、座談会を開催いたしました。大学での学びや高校時代の自身の取り組みについて、後輩に熱心にアドバイスをいただきました。

宗形さんは「国際観光」に興味を持ち進学しましたが、途中で「国際協力」への関心が高まり方向転換を図りました。さらに今後は大学院へ進みアフリカ(特にタンザニアに興味があります)への留学もめざしているそうです。宗形さんの経験から大学へ入学してからも、自分の進路は柔軟に変えていくことができるということだと思います。今進路で悩み、決めかねている生徒も、一歩進んでみるとまた新たな世界や価値観が見えてくるということもあるのではないのでしょうか。

また、拓殖大学では他大学にはないような国際関係の分野や言語(11言語あります)が学べること、また多くの留学生と交流できることも魅力であり、その中で自分の進むべき道を見出していったと語ってくれていました。さらに、英語の勉強の必要性(最初は大学の英語のレベルについて行くのが大変でした)を強く感じたとも語り、高校時代には必ず英検2級までという目標を持って頑張っていた(私も高校時代に2級まで取得しました)とアドバイスいただきました。参加した生徒からも、「高校時代の英語の勉強時間は?(5時間くらいはやっていましたと思います)」、「卒業した後の進路をどう考えているのか?(まだイメージがないが、院での2年間でそれを探したい)」

などの質問が活発になされ、有意義な時間を過ごせたようです。ぜひ今回の座談会を糧にして、宗形さんのように自分で道を切り開いて行ってほしいと願っています。

宗形さんありがとうございました。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



大学入学共通テスト 感想&後輩へのアドバイス

共通テストが1月14日・15日実施されました。
本校は71名が受験しました。

- 文章量や難易度が学校の授業でやるレベルの倍の倍、もしくはそれ以上と感じられた。
- 大学入学後のためにも、日ごろの継続した学習が必要だと思った。
- 合格内定している人もしっかり勉強をし、さらに一般試験に向けて頑張っている人を応援する。
- 普段からの授業を大切に、基礎を固める。日々の積み重ねが本当に大事。
- 古文漢文は、普段から勉強していないと解けない。レ点や返り点、書き下し文など基礎力が試された。
- 英語は単語力及び文法を身に付け、さらに速読の練習も必要。
- リスニングが始まる前に選択肢を読んでおくとよい。
- 政経：会話形式の出題で分かりにくかった。ニュースや新聞で見る言葉も出題されていた。
- 数学：選択肢の問題が少なく、計算ができないとさんざんの結果になる。

<いわゆる推薦入試でも共通テスト利用の大学が増えています。実力をつけるしかない！>

ゼミとは何ぞや？「ゼミの武蔵」のゼミブログを見よう！

「武蔵大学」で検索、TOPページのゼミブログからどうぞ

本校でも「総合的な探究の時間」において、探究活動をゼミに分けて進めています。2年生は今年度、各ゼミにおいて活動し、中間発表を終えて、いよいよ探究活動も大詰めの段階までできました。

大学も少人数で主体的に研究テーマを決め、専門的な学びを深める「ゼミ」形式の授業を行っています。東京にある武蔵大学では、ゼミの状況をブログで報告しています。全学部で実施しており、リアルなゼミの実態を垣間見ることができます。大学生がいま「探究」していることについて、ホットな情報が詰まっています。高校入試の休校期間中、アクセスしてみたいはいかがでしょうか。

○どんな風にテーマを決めるの？ ○研究の進め方は？

○調査方法は？ ○発表のスタイルは？ などなど

1年生は来年度の「総探」を進める上でとても参考になるはずです。また、2年生にとっては学部選択の参考になることも間違いなし！

<ゼミの一部をご紹介>

- 「現代日本経済の課題について考える」
- 「家族から考える経済と歴史」
- 「ゲーム理論で読み解く現代政治経済現象」
- 「女らしさ」「男らしさ」は「生存」の問題？
- 「スポーツを問いなおす」
- 「イギリス女性史から知らないイギリスを学ぶ」
- 「西鶴を学び、西鶴に学ぶ」
- 「観光文化ゼミナール／世界の多様な文化と観光の関係を考える」
- 「食・農・地域コミュニティの社会学」
- 「「他者」理解、多文化共生の人類学」
- 「服飾を通じてモノの調査研究手法を学ぶ」
- 「生活世界とジェンダー」

武蔵大学 は「ゼミの武蔵」と呼ばれ400以上のゼミがあります。1年次からスタートするそうです。

2022年4月 国際教養学部 開設

ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラム（武蔵大学に居ながらにしてロンドン大学の学位が取得できる夢のようなプログラム）もあります。経済経営学専攻（ロンドン大学はこちら）or グローバルスタディーズ専攻があります。